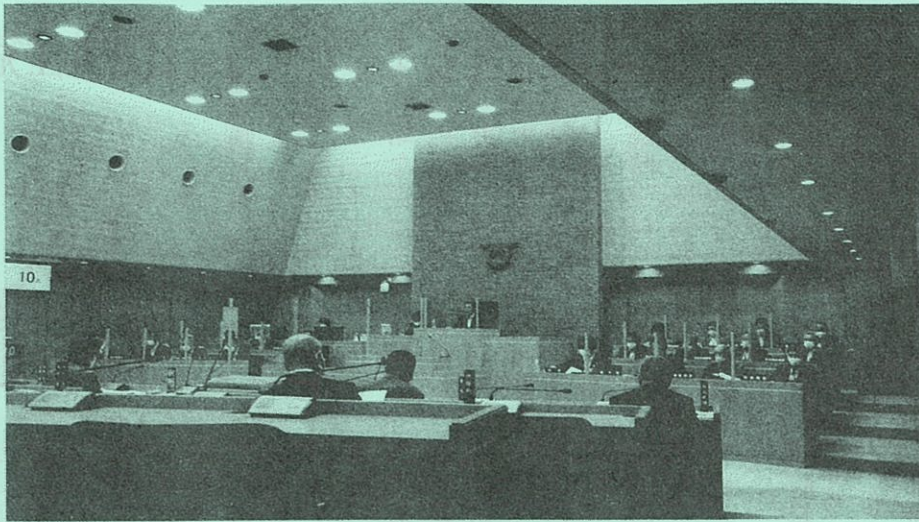


あかびら市議会

第2回定例会

かわら版

No. 64



第2回定例会初日

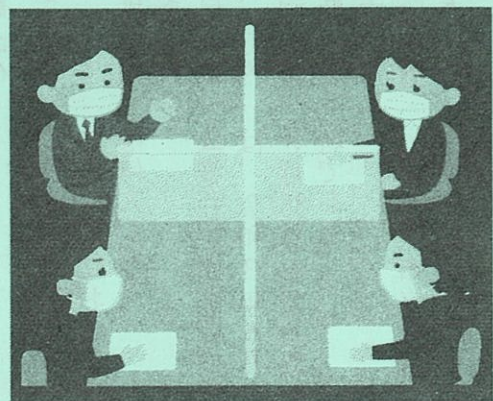
第2回定例会は、6月21日開会され、議案8件、報告3件、意見書案1件が慎重に審議され、報告3件、赤平市国民健康保険条例の一部改正案について等4案件が行政常任委員会の付託され、審議の結果、決すべしとの議案が全会一致で原案どおり可決され、24日に閉会となりました。

（詳しくは6ページををご覧ください。）

（質問の概要は2ページから5ページに掲載いたしました。）

全国市議会議長会より表彰

市議会議員として、長きに渡り地方自治の発展と振興に貢献された功績により、全国市議会議長会会長から永年勤続10年以上の表彰として、竹村恵一議長が表彰されました。



一般質問(4名)

日本共産党



木村 恵

物価高騰対策について

【質問】新型コロナウィルスや、ロシアによるウクライナ侵略などによる物価の高騰が市民生活や事業者の経営を直撃している。コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分として新型コロナウィルス感染症対応地地方創生臨時交付金の限度額が示され、各自自治体はこれを活用して独自の物価高騰対策を講じている。赤平市では、現在どのように活用していく考えか伺う。

策など、必要な事業に迅速に対応していく考えである。赤平市独自の物価高騰対策として、6月補正で「地域交通事業者支援事業」や「中小企業等経営持続化支援事業」など、事業者向けの物価高騰対策を行い、4月補正で「スーパープレミアム付き商品券発行事業」や「市内消費活性化特別支援(たすけ愛商品券発行)事業」など市民向けの物価高騰対策を行っている。今後も新型コロナウィルス感染症の状況や市民生活への影響、物価の状況などを鑑み、必要な事業を実施していく。交付金の限度額にとらわれず、一般財源の投入も辞さない覚悟で取り組んでいきたい。

補聴器購入費助成制度について

【質問】今年度から歌志内市、沼田町など空知管内でも補聴器購入費助成制度が始められている。赤平市では、「加齢による難聴者の実態把握調査」がされていると思う。これまでの答弁では、「その結果をもとに今年度の実施についての判断

断を行っていく」ということだった。調査の進捗状況と実施についての考えを伺う。
【答弁】令和4年1月～3月に「聞こえ・補聴器に関するアンケート調査」を行った。市内に住民登録している65歳以上の高齢者で、ボランティア団体や民生委員、まる元運動教室参加者、要支援者や要介護者など合計170名のうち156名の方に回答をいただき、26%の方に41名の方が補聴器購入について検討されているとの結果であった。現在、社会福祉課において、実施に向けて助成対象者や助成額及び上限額、実施時期など、要綱の策定を進めている。

福祉部門の機構について

【質問】地域共生社会実現に向けた提言が市民団体から出された。これからの機構改革を考えていく上で貴重な提言だったのでないかと考える。福祉部門の機構の今後についての市長の考えを伺う。
【答弁】この提言を踏まえ、福祉行政における組織の在り方についても検討が必要

民主クラブ



若山 武信

だと改めて認識した。高齢者関連の社会福祉課と介護健康推進課は幾分離れた場所にあると思う。また、子ども家庭庁設置法などが整備されたこともあり、子育て支援に関する部署も新たな位置づけの検討をしなければならぬ。これらの状況や、市民の利便性も考え庁舎内の課の場所についても併せて今後の機構改革の中で検討していきたい。

【答弁】地域や町内と連携した体制づくりは、地域の実情に合わせることににより作業体制が有効になると思われる。しかし反面、大雪の際などに作業が遅れた場合には、通行障害を生じさせる等が想定される。住民生活に支障を及ぼすような問題も発生する懸念がある。さらに作業内容の明確化や事故等に際しての責任の在り方を考慮すると、課題の整理が必要となると考えられる。今後、各方面から情報を収集する等、当市に見合った除排雪体制づくりについて研究していきたい。

新型コロナウィルス感染症について

【質問】令和4年5月末までの当市における感染者数は何人か伺う。

【答弁】赤平市の感染者数は、令和3年6月から4年5月28日までで累計208名である。

【質問】市立病院でのクラスター発生時の対応について伺う。

【答弁】あかびら市立病院

のクラスター発生は職員を含め11人。入院患者の感染症病床を臨時的に4床増床した。また、152人、延べ296回の検査を迅速に実施し、約2週間で収束した。

【質問】4回目ワクチンの有効性と安全性を伺う。

【答弁】4回目のワクチン接種は新型コロナウイルス感染症にかかった場合の重症化予防を目的とされている。接種対象者は60歳以上の方及び18歳から59歳で基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方に限定している。ワクチンはファイザー社製とモデルナ社製を使用する。国からは、有効性については「海外の研究で60歳以上の方に接種後6週間で重症化予防効果は大きく低下せず維持されていた。」また、安全性は、「接種後21日までに重大な副反応は認められなく、疼痛や倦怠感、発熱などは一定の割合で認められた。」との報告がある。

ヤングケアラーについて

【質問】ヤングケアラーについて
【答弁】これまででは、ヤングケアラーであると思われる児童等の相談がなかった。調査の実施に至っていない。しかし、子供自身やその家族がヤングケアラーの問題自体を認識していないことから、相談や早期発見につながるのではないのではとの危惧もしている。「赤平市要保護児童等対策協議会」を早期に開催し、実態調査を実施と支援体制強化の協議を進めて行きたいと考える。

【質問】他自治体では庁舎ロビーを市民の憩いの場として有効活用している事例がある。コロナ禍でストレスが鬱積する市民にとって対話の場が必要。当市においても庁舎一階ロビー断を行っていく」ということだった。調査の進捗状況と実施についての考えを伺う。
【答弁】令和4年1月～3月に「聞こえ・補聴器に関するアンケート調査」を行った。市内に住民登録している65歳以上の高齢者で、ボランティア団体や民生委員、まる元運動教室参加者、要支援者や要介護者など合計170名のうち156名の方に回答をいただき、26%の方に41名の方が補聴器購入について検討されているとの結果であった。現在、社会福祉課において、実施に向けて助成対象者や助成額及び上限額、実施時期など、要綱の策定を進めている。

新政クラブ



北市 勲

【質問】ロビーの一般開放についてはコロナ禍の現段階では難しいと考えているが、国の感染症対策の方針を見極めたうえで、以前のよう丸テーブルの設置を検討していきたい。

【質問】旧茂尻・赤間・豊里小学校の空き教室の空き教室の利活用については、これから適切な情報提供をしながら市民の意見を伺いながら判断することとしますが、適切な情報とはどのような情報で、赤平市としての具体案はあるのか伺う。

【答弁】適切な情報とは、

【再質問】赤平市として具体的な管理・運用案は無いこと、また「旧3小学校活用検討会議」を立ち上げて協議を開始したことについても、立ち上げも遅いので赤平市の積極性や主体性に疑問を感じている。市長は、管理・運用は市民の意見を伺いながら判断することとしますが、意見を伺う場面はどのような形式で何時ごろを考えているのか伺う。

【答弁】旧3小学校の近隣地域も含めた市内全域にて市民と共に協議検討して参りたい、時期については「旧3小学校活用検討会議」の検討資料が整った以降に考えている。

【質問】中空知における広域の公共交通については

【再質問】「中空知地域公共交通活性化協議会」に於いて、中央バスの運行について沿線市町と連携を図り協力・支援のあり方の検討をするとのことですが、赤平市の協力・支援のあり方について伺う。

【答弁】協議の進捗状況については、4月20日の発足であり、しかしながら中空知地域公共交通計画の策定に向けた議論は始まっております。協議会の中では地域間幹線交通の中で主に中央バスについて協議される予定であります。赤平市は「滝芦線」「歌志内線」の各専門部会に所属しています。赤平市は現行の路線や便数の確保など地域の実情を訴えながら臨んで行く。

【再質問】「中空知地域公共交通活性化協議会」において、中央バスの運行について沿線市町と連携を図り協力・支援のあり方の検討をするとのことですが、赤平市の協力・支援のあり方について伺う。

【答弁】中央バスの利用者は減少傾向にあり、加えて近年は新型コロナの影響で収支状況は悪化してきてい

る。「滝芦線」「歌志内線」の沿線の市町は深刻な収支状況の報告を受け、その都度協力・支援のあり方を協議してきた。中央バスの収支改善の協力をするために利用者の少ない便の減便を容認せざるを得ない状況もありました。今後「中空知地域公共交通活性化協議会」において、赤平市は中央バスが「赤平市民の足」として重要な交通機関であり、特に赤平中学校及び近隣市町の高校に通う生徒に欠かせないものであると認識のもと、「滝芦線」「歌志内線」の現路線や便数を確保し、そのためにどの程度の協力・支援ができるかを協議してまいります。

商業の振興について

【質問】地域商業を守り活力あるまちづくりを推進するにあたっては、閉店した店舗や空き地の活用等を行う必要がある。状況改善を図るためには行政トップの市長と経済界トップの商工

会議所会頭が直接会って意見交換をすべきであると思

うが市長の考えを伺う。【答弁】赤平商工会議所会頭と会う機会がある毎にお話はしているが、今後、意見交換や情報交換を実施いたします。

新政クラブ



安藤 繁

環境問題について

【質問】プラスチックごみによる海洋汚染や地球温暖化が進行している。「プラスチック資源循環促進法」施行を受けて、リサイクルの取組みをどの様に考えているのか、また中空知衛生施設組合では、どの様に検討されているのか伺う。

【答弁】リサイクルに向けての回収は、新たなごみ袋や運搬コストの増加等の課題があるが、カーボンニュートラルや海洋汚染ゼロの目

標達成に向けて対応していく。また組合では、分別方法やリサイクル先の検討、環境省のモデル事業や各市町村の動向の把握段階であり、様々な影響も考えながら新たな法律のもと取り組みを進める。

プラごみ削減宣言について

【質問】「プラごみ削減宣言」をしている地方自治体が増えて来ているが、当市の考えを伺う。

【答弁】近隣自治体も含め当市も宣言していないが、消費者協会や商店等の協力により、プラごみの削減が進んでいる。今後、近隣自治体の動向等を注視しリデュース、リユース、リサイクル運動に取り組んで行く。

観光の振興について

【質問】赤平市は「ドライブマイカー」の映画製作地であり、これをどの様に観光振興につなげていくのか、例えば芦別市では映画を上映している。当市も上映しては如何か。また、炭鉱遺産関連施設やロケ地を分り

易くする為に総合案内板を整備しては如何かと思うが伺う。

【答弁】素晴らしい作品の撮影に当市が関わる事が出来誇りに思う。観光協会ですら「ドライブマイカー」の「案内看板」を設置して頂いた。図書館では、DVDを購入しており、貸し出しをする予定である。今後も観光資源をどの様に活用出来るか検討して行く。総合案内板は、設置の有無や場所、内容について検討して行く。

情報発信基地AKABIR Aベースについて

【質問】情報発信基地AKABIR Aベースにおける情報伝達の充実・整備や、現存するリーフレットには今も存在しない施設の名称が載っていたりするが、炭鉱ガイド施設や空知川露頭炭展望広場が掲載されていない。リーフレットの更新をどの様に考えているのか伺う。

【答弁】現場と協議し、商品の入れ替えや模様替え等

を進め訪れた方に不便のない情報を整理する。また、古いリーフレットが混在しており迷惑をおかけした。次期リニューアル時に「ドライブマイカー」や露頭炭展望広場等の情報も加える。図書館について

【質問】建物の老朽化が進行しており「赤平市戸別施設計画」では、移転等につき令和3年度から活用方策の検討期間となっているが、すでに1年3カ月程経過している。今後、どの様に進めていくのか伺う。

【答弁】現在、閉校した3小学校の活用検討会議を立ち上げ協議を開始した。図書館は、社会教育施設の複合化を視野に入れる必要がある、市民の意見を伺い移転について考えて行く。

【質問】近年、開館時間の増加等利便性の向上と図書館員と接触なしに図書を受け渡しが出来、コロナ感染防止対策にもなる「自動貸出し設備」を導入する図書館が増えてきているが、当市の考えを伺う。

編集後記

前回の地方統一選挙から、早くも3年余を過ぎ、この間コロナ感染症・ロシアとウクライナの戦争や円安による原油や穀物等の諸物価の高騰等人生には「上り坂・下り坂・まさかの坂」があると言いますが、全世界が想定外な厳しい状況に直面する中、六月の定例会が開会され、コロナ対策や物価高騰・除雪や福祉対策・公共交通の整備・商業・観光振興や環境問題など多岐に亘り、活発な質問が行われ、市長・教育長から真摯な答弁がありました。

かわら版には、1時間余に亘る質問・答弁の要旨のみしか掲載出来ませんが、是非議会定例会や委員会の傍聴に来て頂ければと思います。

また今年も、市民の皆様との議会報告会を実施の予定であり多くの皆様のご意見ご要望を伺えればと思います。今後、市と協働し市民の皆様のお話を伺いな

から、福祉の向上並びに経済振興に努めて参ります。

(安藤)

かわら版編集委員会

- 委員長 鈴木 明広
安藤 繁
東 成 一
木村 恵
五十嵐美知

議会活動について

【答弁】令和2年度に図書消毒器を導入し、感染拡大による休館時は、電話による貸出しも実施してきた。設備に多額の費用がかかり、他市町村の状況を見ながら購入の可否を含め検討する。

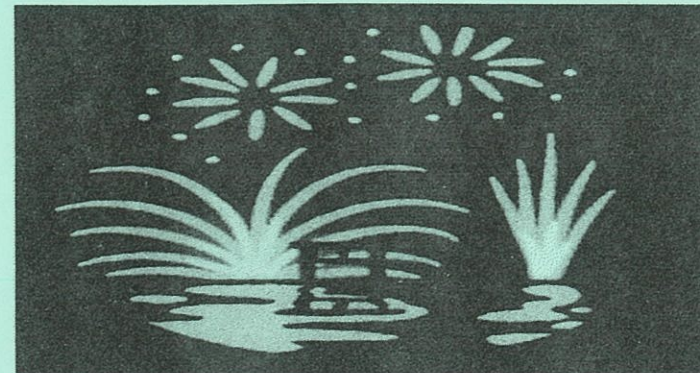
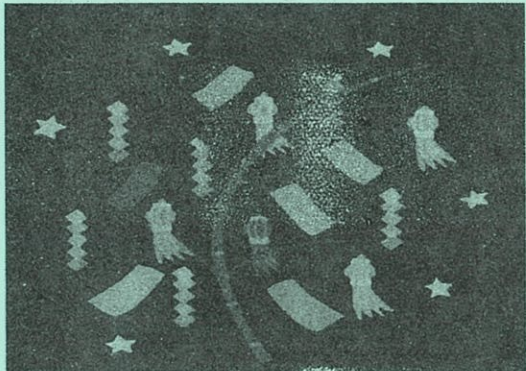
- 4月11日 北海道市議会議長会道央支部協議会(美瑛市)
4月19日 議会運営委員会
4月19日 行政常任委員会
4月22日 赤平市議会第2回臨時会
4月27日 第85回北海道市議会議長会定期総会(富良野市)
5月16日 全国自治体病院経営都市議会協議第50回定期総会(東京)
5月19日 行政常任委員会
☆案件
(1) あかびら市立病院の経営状況令和3年10月・11月・12月と令和4年1月・2月・3月分について
(2) 参議院選挙における投票所について
(3) 赤平市教育支援室の設置について

- (4) 赤平市地域公共交通計画について
5月25日 全国市議会議長会第98回定期総会(東京)
5月25日 全国市議会議長会第162回地方行政委員会(東京)
6月9日 全員協議会
6月9日 議会改革検討協議会
6月16日 議会運営委員会

令和4年赤平市議会第2回臨時会が4月22日に開催され4議案を審議しました。

- 議案 第294号 専決処分承認を定めることについて(赤平市長市税条例の一部改正について)
提出者 市長
提出月日 4月22日
議決月日 4月22日
結果 承認

- 議案 第295号 専決処分の承認を定めることについて(令和3年度赤平市一般会計補正予算)
提出者 市長
提出月日 4月22日
議決月日 4月22日
結果 承認



令和4年赤平市議会第2回定例会議決結果表

議案第298号	赤平市議会議員及び赤平市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について 提出者 市長 提出日 6月21日 付託委員会名 行政常任委員会 議決 6月24日 結果 原案可決
議案第299号	赤平市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について 提出者 市長 提出日 6月21日 付託委員会名 行政常任委員会 議決 6月24日 結果 原案可決
議案第300号	赤平市国民健康保険条例の一部改正について 提出者 市長 提出日 6月21日 付託委員会名 行政常任委員会 議決 6月24日 結果 原案可決
議案第301号	赤平市介護保険条例の一部改正について 提出者 市長 提出日 6月21日 付託委員会名 行政常任委員会 議決 6月24日 結果 原案可決
議案第302号	北海道市町村職員退職手当組合理約の変更について 提出者 市長 提出日 6月21日 議決日 6月21日 結果 原案可決
議案第303号	赤平市過疎地域持続的発展市町村計画の一部変更について 提出者 市長 提出日 6月21日 議決日 6月21日 結果 原案可決
議案第304号	令和4年度赤平市一般会計補正予算 提出者 市長 提出日 6月21日 議決日 6月21日 結果 原案可決
議案第305号	令和4年度赤平市病院事業会計補正予算 提出者 市長 提出日 6月21日 議決日 6月21日 結果 原案可決
報告第31号	令和3年度赤平市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について 提出者 市長 提出日 6月21日 議決日 6月21日 結果 報告済
報告第32号	令和3年度赤平市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について 提出者 市長 提出日 6月21日 議決日 6月21日 結果 報告済
報告第33号	株式会社赤平振興公社の経営状況について 提出者 市長 提出日 6月21日 議決日 6月21日 結果 報告済
意見書案第58号	食料の自給率向上を国政の柱に据える政治転換を求める意見書 提出者 議員 提出日 6月24日 議決日 6月24日 結果 原案可決

かわら版には、紙面の都合上によりダイジェスト版（要約版）としてのお知らせとなります。議決の詳しい結果内容は赤平市議会ホームページでご確認できます。また一般質問の全文は議会ホームページや図書館の会議録をご覧ください。

このかわら版のお問い合わせは、赤平市議会かわら版編集委員会TEL32-1858でお願い致します。